

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大崎市立田尻中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒989-4308  
宮城県大崎市田尻沼部字早稲田15番地

E-mail : osaki\_tajiri-jh@educ.osaki.miyagi.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 171名 女子 144名 合計 315名  
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

### (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校学区内には、ラムサール条約で指定されている蕪栗沼や、日本の国蝶であるオオムラサキが生息している加護坊山などがあり、自然環境にめぐまれている。また、自然との共生の中で水稲の栽培を進めている「冬水田んぼ」や、減少しつつあるメダカを飼育し増やそうと取り組んでいる「メダカの郷」などがあり、生物の多様性への係わりが深い地域でもある。このような地域の特性を生かし本校では、環境教育を推進している。

本年度は、環境教育の一環として、①「グリーンウェーブ」への参加、②環境学習の実施、③環境講話の実施、に取り組んだ。

### 活動の実際

#### I グリーンウェーブへの参加

1. 目的 国連の生物多様性条約事務局が企画している「グリーンウェーブ2014」に参加することにより、地球環境についてグローバルな視野を持たせると共に、地域自然保全活動への興味・関心を深めさせる。
2. 日時 平成26年5月22日(木) 9:40～11:20
3. 場所 大崎市立田尻中学校 校舎北側花壇(ビオトープ周辺) 校舎南側花壇
4. 参加生徒 第1学年生徒97名
5. 指導計画  
5月14日(水) 目的, 主旨, 当日の活動についてなど事前全体指導(4校時)  
5月22日(木) 当日(開会式・植樹・ヒマワリの植ええ)  
5月22日(木) 体験をもとに自然保護・環境保全のためにできる努力についての感想文を書かせる。(6校時)
6. 活動の様子 植樹樹木 ドウダンツツジ6本 ヒマワリの苗約250株

### 7. 生徒の感想



このグリーンウェーブは世界的行事で、森林を大切にするためにやることです。僕は今日のグリーンウェーブで、もっと森林などを大切にしなければならないということ学びました。

- ・ 今日のグリーンウェーブで改めて、植物の大切さがわかりました。植えたのは萩とヒマワリです。早く大きくなってほしいなと思います。今日の活動をみんなできて楽しかったです
- ・ 今日1年生が世界的な行事グリーンウェーブに参加できてうれしかったです。今日活動して、改めて緑の大切さを感じました。私はヒマワリの苗を植えました植えた後は、草取りや水やりをしました。今日植えたヒマワリが夏に咲くのが楽しみです。
- ・ 1年生全員でヒマワリの種を植えることができよかったです。苗を植えた後の草取りも各自頑張っていました。今日の体験をきっかけとして、今後も緑を植え続け、緑を大切にしていきたいと思いました。そしてドウダンツツジやヒマワリも元気に育ってきれいな花を咲かせられるように、これからも水やりや草取りをしていきたいです。

## II 環境学習（1学年）

### 1 テーマ 郷土の環境を調べよう

#### 2 ねらい

- (1) 田尻地域の自然環境に対する意識を高めさせ、地域社会の環境や産業に興味・関心をもたせる。
- (2) 環境に関する各自の課題追求を通して、ふるさとの自然を見つめる力を身に付けさせ、環境を理解する態度と実践力を身に付けさせる。
- (3) 図書の活用やインタビューなどさまざまな方法により、情報を収集・選択できる力を身に付けさせる。

#### 3 学習を通して育みたい力

- (1) 課題を設定する力
- (2) 課題を解決しようとする意欲・態度
- (3) 学習目標を設定し、動機や理由を説明する力
- (4) 計画をもとに実行する力
- (5) 体験、調査学習を通して、自分の学び方を高める力
- (6) 学んだことを自分の考え方や生き方に取り入れる力
- (7) 表現力
- (8) 環境を保全しようとする態度・実践力

#### 4 学習の方法

- (1) 学習スキルの習得によって、課題を設定していくための基礎を体験する。
- (2) 調査活動や講話を聞いて、課題に対する疑問を解決する。
- (3) 調査結果をまとめ、レポートを作成する。
- (4) 振り返りをする。

#### 5 指導計画（8時間）

5月 1日（木）	オリエンテーション 環境学習の流れについて	6校時
5月20日（火）	冬水田んぼについての資料読み合わせ	6校時
6月 9日（月）	冬水田んぼについての質問事項を考えさせる。	6校時
6月11日（水）	冬水田んぼについての講話を聞かせる。 講師 大崎市田尻総合支所長 西澤 誠弘 様 演題 「冬水田んぼについて」	5・6校時
6月18日（水）	冬水田んぼについてのレポートを作成させる。	4校時
6月25日（水）	冬水田んぼについてのレポートを作成させる。	4校時
6月30日（月）	活動の振り返りをさせる。	4校時

#### 6 講演会の様子



#### 7 学習を振り返っての感想

- ・私たちの身近に蕪栗沼があり、ガンやハクチョウは見慣れているけれど他の地域ではあまり見ることができないということを知り、貴重なものなのだなあと思いました。環境破壊をしないように、自分自身の行動に気をつけながら生活したいと思いました。
- ・自分たちの地域に歴史のある「冬水田んぼ」があります。僕たちの地域は主に自然や田んぼなどがいっぱいです。この地域の自然を大事にしていかなければならないと思いました。また、自分たちの地域がラムサール条約に登録されていることもうれしかったです。
- ・「冬水田んぼ」の歴史や効果について具体的に知ることができて良かったです。また、蕪栗沼の自然環境について考えを深めることができ、人と生物は共生していくことが大切だと思いました。

・今回いろいろ調べたり、話を聞いたりして多くのことを知ることができました。たくさんの人たちやたくさんの生き物たちが協力して「冬水田んぼ米」を作っていることも分かりました。今後「冬水田んぼ米」を食べる時があれば、今回学んだことを思い出して感謝しながら食べたいと思います。

・蕪栗沼、冬水田んぼにはいろいろな生物がいることが分かりました。クモやカエルなどは害虫を食べてくれ農薬を使わずにすむし、イトミミズは田んぼを耕してくれたり、カモやハクチョウの糞は肥料となったりなど、田んぼと生き物が深く関わっていることが分かりました。それから蕪栗沼や冬水田んぼに関わっている多くの人たちに感謝したいと思いました。

### Ⅲ 環境講話 (全学年)

#### 1 ねらい

- ・地球温暖化などの地球規模の環境問題に関心を持ち、自然や環境を保全する意義への理解を深める。
- ・ふるさとの自然を愛し、住みよい生活環境を築こうとする心情と態度を養う。

2 日 時 平成26年9月12日(金) 5・6校時 13:40~14:50

3 場 所 田尻中学校体育館

4 講 師 Tuvalu Overview 代表理事 遠藤 秀一 氏

5 演 題 「ツバルからみる地球環境」

#### 6 講演を聴いての感想

・50年で海面が20cmも上昇していたことにとっても驚きました。先進国である日本が二酸化炭素をたくさん出して、その影響が実際にツバルの現状に関わっている事を聞いてとても悲しくなりました。私は普段から節電に心がけているのですが、水筒に飲み物を入れて、持ち歩く方法もやってみようと思います。ツバルの方々や未来の地球を救うためにも、小さいことからやっていきたいです。

・年々進行している地球温暖化問題がツバルの人々を苦しめていることを知りました。水面が上がり国土がなくなりつつあるという現状を知り悲しくなりました。自分の国がなくなるなんて不安は相当なものでしょう。しかも地球温暖化が進行している原因が先進工業国である日本なのだと知り、驚きました。私たちにできることは、ペットボトル飲料やお菓子を買わないようにする、エコバッグを持つなど小さいことだけだけど、私1人でもやっつけようと思いました。

・この環境講話を聞いて、地球温暖化を初めとする世界が抱える問題を深く知ることができました。それと同時に自然の美しさも知ることができました。これからの生活で私たち一人一人が環境に対する意識を高め、未来の地球が美しくなるように環境保全に努めたいと思います。

・ツバルが沈んでしまっているのは、私たち人間のせいなので、今、私たちにできることをしていきたいです。二酸化炭素などを出さないようにしていきたいし、必要じゃないのを買わないようにし、ツバルの未来へつなげていきたいです。きれいなツバルを残したいです。今日写真で見たツバルは、珊瑚礁や砂がとてもきれいでした。そしてツバルの人たちも自然を大切にしています。それに対して私たちはどれだけ自然を破壊していたかが講話で気づかされ、改めて考えることができました。

・講話を聞き終えて一番最初に思ったことは、「二酸化炭素を出さないようにしよう」でした。二酸化炭素を私たちが出すことによって、ツバルの人たちが困っていると遠藤さんが熱心に説明してくれたからです。画像で見たツバルはとてもきれいで、私も行きたくなりました。あのきれいなツバルがなくなるのはとても残念なので、なくならないように、これから私も二酸化炭素を出さないようにしたいです。ツバルのためだけではなく、地球の未来の私たちのためにもなるので頑張りたいです。

